

事業所名 スタディサポートMJ入間

公表:令和5年3月24日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	6	1			
	②	職員の配置数は適切であるか	5	2			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	2	4	1		・階段手すりがない。 ⇒職員を前後に配置し危険 を回避している。
業務改 善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	4			⇒四半期ごとの責任者会 議の内容を共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	7				⇒問題点を抽出して次年度 に向けての改善目標を決 めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	4	2	1		⇒公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか	5	1	1		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	2	4	1		⇒テーマを決めて資質向上 のための研修を計画してい る。
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	4	2	1		⇒会議のみならず、日常の 支援内での気づきも計画に 反映する事を意識してい る。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	2	4	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	1		⇒学期ごと、月ごとの計画 を話し合う時間を設けてい る。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	7	0	0		⇒支援のオーダーメイド化 を目標に個々のニーズを反 映した支援を目指してい る。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	5	2	0		⇒時間設定や内容を事前 に共有してその日ごとの計 画を決めている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	7	0	0		⇒日々の成長や変化を計 画に反映出来るように話し 合いの時間を確保してい る。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	7	0	0		⇒打ち合わせはしている が、パートさんに伝えきれて いないことがある。	

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	0		⇒終礼や次の日の朝礼に振り返りをする時間を確保している。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2	0		⇒モニタリング記録を全職員で担当し、互いの記録を確認しながら次の支援に活かすことを意識している。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	0		⇒利用の次の日までに記録を記入する事を目標にしている。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	4	1		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	2	5	0		⇒主に管理者が参加しているが、事前に意見集約をしている。
	⑩⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	非該当1		⇒学校へ送迎の際の情報共有以外にも連絡を取り合っているように意識している。
	⑩⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	1		
	⑩⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	0		
	⑩⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	5	0	DESIGNBASEとの連携	
	⑩⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	7	0		
	⑩⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	5		
	⑩⑰	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	4		⇒オンラインでの参加
	⑩⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1	0		⇒送迎の際やお知らせLINEでのやり取りを大切にしている。
	⑩⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2	1		⇒個別面談の際などに、アイデアの提案をする場合がある。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2	0		⇒利用契約の際に実施。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	4	0		⇒送迎の際やお知らせLINEでのやり取りを大切にしている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	5		
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	1		
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0		⇒お知らせ、季刊誌、通信、インスタグラムなど。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	7	0	0		
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2	0		⇒ご家族の情報も職員間では共有している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	3		
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	1		
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	1		⇒年2回実施。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	1		⇒継続的に研修を開催している。
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	1		⇒社内研修を実施。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	0		⇒配慮が必要な利用者の一覧を作成して、職員間共有をしている。
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0		⇒ヒヤリハットと連絡票による共有をしている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。